

つれづれよこはま : 司法書士・福井圭介

私が物心がついたころ、ニュースで目にしたのが
イランイラク戦争でした。

その後、世界情勢に興味がわきはじめた思春期に
湾岸戦争が起こりました。

21世紀になりアメリカで同時テロが起こり、アフガニスタン紛争へと続く過程で、子供を持つ親となりましたが、よもや、自分の子供が物心がついてからまたも戦争が起こるとは思いもよりませんでした。

日々流れるニュースで子供も様々な情報を見聞きしているのでしょう。

遠い彼方で起こっている戦争であるけれど、われわれの生活にとっても大きな影響がある、ということもわかっているようです。普段、子供たちはテレビゲームなどで自分の操作するキャラクターが「死んだ」という言葉を何のためらいもなく使っていましたが、この戦争が始まってからは「死ぬ」という言葉を簡単に使わないようになってきているような気がします。

この原稿を書いている3月28日時点では、起きてしまったこの戦争がどう収束するのか、今はまだ分かりません。われわれ日本人の身にどんなことが起こるのか想像しきれないほどです。

それでも、子供たちの将来を考えると悲観的になってばかりはいられません。

子供たちがどう感じているか、それに対して親としてどう対処するべきか、そんなことを日々考えつつ、コロナ禍後はじめて正常に開幕するプロ野球をビール片手に楽しみながら、「今年こそ家族で旅行をするぞ!」と決意するのです。



日々雑感 : 司法書士・清水敏博

最近、動物を取り上げるテレビ番組が多いですね。
犬猫の何気ないかわいい姿を見るととても気持ちが和みます。

私はもともとは動物が好きで、小さな頃は犬や猫を近所からもらってきては
育てていました。(昔は近所のあちこちで犬猫をくれました)

ケガをしているハトやタヌキを保護していたこともあります。

今思えば、世話の大半は母まかせという面もありましたが・・・

先日、犬の散歩シーンを見た私がボソッと「犬でも飼いたいなあ」とつぶやき、下の息子が即座に
「いいね!」と反応。

間髪入れず、妻と娘が「誰が面倒みるの? どうせ、ちゃんと面倒みないでしょ!」とピシヤリ。
鉄壁を誇る女性陣の固い牙城に阻まれ、淡い期待もほんの一瞬で粉々に砕け散りました。
なかなか昔のようにはいかないようですね。



きなこ♀3歳
(社員のお宅のアイドル)

相続・遺言・贈与・成年後見・老後の生活設計

発行: 司法書士法人あいおい総合事務所

横浜市戸塚区戸塚町157フタバビル203

TEL 045-862-6012 FAX 045-862-6081



うららかな風がこちよい
季節になりましたね。ようやく
寒い冬が終わってウキウキです。
次号は10月ごろです。お楽しみに!

